

児童園だより

第十五号

平成二六年九月一九日発行

遊具のご寄付をいただきました

松本市新村の遊技場EX様より、屋外設置の遊具を寄付していただきました。

当園にはジャングルジムや鉄棒などの屋外遊具がありますが、一歳、二歳の小さい子どもでも遊べる遊具が望まれていたもので、幼児は大喜びで遊んでおります。

これは、同店の店員の皆様が、お客様に余玉の寄付を呼び掛けていただき、それを積み上げて実現したものです。

EX様には、同様の方法で平成二十五年から継続してご寄附をいただき、これまでにベツド用マットレスや、自転車及びヘルメットを揃えました。また同様の方法で、松本市笹賀の大将軍様、安曇野市高家のチャンピオン様からも毎月お菓子のご寄附をいただいております。

当園の子どもたちのためにご尽力くださっている各店の店員の皆様、このことをご理解してご協力くださった大勢のお客様には厚く御礼申し上げます。



楽しかった夏休み

夏休みが終わりました。今年も、子どもたちはユニットごとに海へ、川へ。浮き輪や釣竿を握りしめて大冒険の旅へ出ました。

海を目指したグループは、新潟で二泊三日のキャンプを楽しみました。説明書を片手に、悩みながら自分たちでテントを組み立て、海水浴場では日が暮れるまで思う存分遊びました。「すごい！海で泳ぐなんて何年ぶりだろうー」と、興奮しながら話す子どもの笑顔が印

象的でした。

川へ向かったグループは、まずはバーベキューの火起こしに挑戦です。「なかなか点かないね」、「もっと、うちわで扇がなきゃ」任された子どもたちは、恐る恐る、しかし真剣に取り組んでいました。川岸に立つ子どもたちは、釣竿を手に緊張した面持ちで、じっと水面を見つめます。小学六年生の男の子は、見事ヤマメを釣り上げて大喜びでした。

楽しい思い出と新しい経験を得て、また少し成長した子どもたちは、今日も大きな声で笑いながら、二学期が始まった学校へと登校していきました。

